

2015 年
入試用

学校説明会レポート



二松學舎大学附属柏中学校・高等学校

日時 2014 年 6 月 27 日 (金) 10 時 00 分～11 時 33 分
所在地 千葉県柏市
会場 クレストホテル柏
対象 塾
出席者数 約 80 名
配付資料 学校案内、募集要項、説明会資料など

説明会の概要

あいさつ

校長：長谷川先生 10：00～10：23

- 縁があって校長となりました。中学校開校に携わったのは3校目で、全て大学の付属校です。私学は、建学の精神からスタートしています。本校では、かつての「論語とそばん」を今の時代に生かしていきます。2015 年からは、中学にグローバルコースを設置します。芝浦工大柏との交流、情報交換、生徒同士の交流を深めていきたいと考えています。また、ICT の導入を行い、これからは「論語とタブレット」ということになるでしょう。

グローバルの学びについて

高校教頭：島田先生 10：23～10：40

- 本校は創立 137 年目の学校で、伝統と格式のある中で改革を進めています。2015 年からグローバルコースを設置して、特選・選抜とあわせて3コースになります。タブレットの導入も行います。高校では、すでにグローバル教育を行っています。高校進学時には、スーパー特選、特選、進学コースのほか、スーパーグローバルコースを 2017 年度に開設する予定です。
- グローバルコースの具体的な取り組みとしては、①アクティブラーニングの導入、②英語を取り入れた各教科の授業の展開、③ネイティブによる授業、④多様な語学研修、⑤英検・GTEC の全員受験、⑥グローバル人材育成奨学金による対応、⑦タブレットをもって授業に取り組むなどです。

論語とタブレット

中学教頭：七五三先生 10：40～10：52

- 中学は、開校4年目となりました。2015 年からは新中1・高1は全員タブレットを導入します。本校では、論語を繰り返し学ぶことを人間教育の根幹としています。週1時間論語を学ぶことで人間力の向上を目指しています。
- タブレット導入の目的は、グローバルな時代を見据え、豊かな国際性を身につけることや、情報通信技術による自問自答で力を発揮できる人材を育成することです。タブレットを利用することで、授業での深い説明の時間を確保し、資料や教材を有効に利用することができます。また、学校生活において自己管理の習慣化にも利用する方向で考えています。
- 来月7月からは、スクールバスの往復の時間を利用して、車内に英語を流し、学びの場とする予定です。

進学・学習指導

進路：青木先生 10：52～11：13

- 高校には、スーパー特選・特選・進学の3つのコースがあります。ベネッセのスタディーサポートによれば、入学時に上位層の人数が増えました。スーパー特選のレベルは上がっています。
- 本校の生徒は勉強時間・学習習慣は問題ないのですが、結果がついてきていません。さらに伸ばしていくために、学習方法やスケジュール管理の指導を強化していく方針です。また、二者面談週間を毎学期設定して、テーマに沿って面談を実施していきます。進路指導においては、担任だけでなく、学年・教科・進路で情報を共有し、より多くの教員が関わることで進路実現を図っていきたいと考えています。

2014 年入試結果・2015 年入試について

広報：坂詰先生 11：13～11：33

《中学》

- 2014 年入試では、第一志望入試を実施しました。受験者 39 人、合格者 29 人で、合格者全員が入学しました。入試全体として、合格者平均・合格者最低点ともにアップしています。
- 2015 年【変更点】
 - * グローバルコースを新設します。グローバルコース希望者は、第1回・第2回入試で理科・社会または英語を選択できます。英語は、リスニングを含めて 60 分で、英検 4 級程度の問題です。
 - * 特待生の名称変更：グローバル人材育成奨学金とします。
 - * スライド合格：グローバルコース受験者が合格点に達しない場合は、特選・選抜コースにスライド合格します。

＊受験料振り込み：コンビニエンスストアでできるようになります。

＜高校＞

- 2014 年は、レベルが高い志願者が増えました。内進生も同じ入学試験を受けますが、成績トップ 10 人のうち5人が外部生です。
- 2015 年は、基準に変更はありませんが、加点項目を増やします。

説明会の雰囲気・印象

- 中学開校4年目で、ますます前進していこうという意気込みを感じました。説明会資料が充実していてわかりやすかったです。

交通

- JR常磐線柏駅・我孫子駅などからスクールバスあり。